

美術館に作品を展示してみませんか

飯山市美術館施設開放のご案内

飯山市美術館では、市民の皆さんを対象とした施設開放を行っています。「作品を展示してみたい」とお考えの方は美術館までご相談ください。

1. 趣 旨

市民の芸術および文化活動を奨励し、広くその普及・振興を図るため、ギャラリー等の施設を美術作品の展示場所として開放しています。

2. 利用資格

市内に活動の拠点を置く市民団体

3. 利用場所

ギャラリー（2階）単独か、ギャラリーとロビー（1階）のセットでのご利用となります。

4. 利用可能な時期

6月～8月、12月～3月（ただし、美術館の企画展開催中は除きます）。

5. 利用期間

1回の利用期間は6日間から3週間以内とします（展示・撤収日を含む）。

6. 利用料・諸経費等（1日につき）

区 分	ギャラリーのみ	ギャラリー・ロビー	備 品（※）
市民団体	3 5 0 0 円	5 0 0 0 円	無 料
上記以外	7 0 0 0 円	1 0 0 0 0 円	無 料

※展示・撤収日も利用料を負担いただきます。

※施設の利用に関わって必要な諸経費（作品運搬・展示、印刷物製作費等）は利用団体の負担とします。吊金具、展示台、パネルは無料です。

7. 招待券の交付

当施設へ入館するには入館料が必要になるため、利用団体には招待券を交付します。実際に使われた招待券のうち、団体員一人当たり20枚分を無料扱いとしますが、一団体に対して300枚を無料分の上限とします。

※その他、詳細については飯山市美術館（☎62-1501）までお問い合わせください。

→雰囲気ある美術館ギャラリー。ご自分の美術作品を展示してみませんか。



ふるさと館寄贈資料一覧

○次の皆様から、ふるさと館へ資料を寄贈いただきました。篤志に感謝申し上げます。

（H21.12月～4月分）

◇前沢幸雄 様 ②座繰り機 ②糸かせ ②網杓 ②電話機600自動式

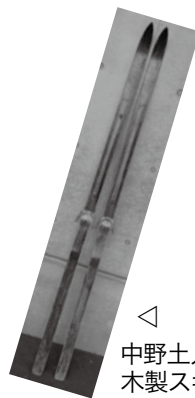
◇伊村紀子 様 ②木目込み雛人形五段飾り1セット（昭和11年） ②木目込み雛人形内裏雛1組（大正2年） ②綿帽子の型 ②七五三道具（扇子1点・宮迫2点 昭和12年） ②五月人形（鎧兜床飾り1点・兜飾り2点 昭和35年）

◇小山元彦 様 ②中野土人形（児島高德）1点

◇高橋善太郎 様 ②麦土入れ ②苗かこ ②豆腐の型 ②背負子 ②糸蒚弱突き出し

◇鈴木弘志 様 ②スキー3点

※ふるさと館では、当館で所蔵していない資料の寄贈を随時受け付けています。寄贈いただいた資料は、大切に保存・活用させていただいております。（ふるさと館 ☎67-2030）

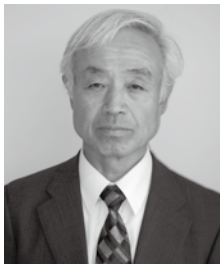


△中野土人形と木製スキー板

文化財保護審議会委員に清水岩夫さん

▼辞任に伴い空席となっていた飯山市文化財保護審議会の委員に、新たに清水岩夫さん（小泉）が就任しました。任期は、残任期間の本年9月30日までです。今回の就任により、飯山市文化財保護審議会の構成は次のとおりとなりました。（敬称略。カッコ内は専門分野）

▼会長職務代理 上原 脩



文化財保護審議会委員 清水岩夫さん

▼委員 白井春子（民俗文化財）▼委員 樋口和雄（有形文化財・史跡）▼委員 吉越眞一（有形文化財・史跡）▼委員 清水岩夫（名勝・天然記念物）

善光寺旧仁王像と飯山



写真①

長野市のあるお寺には、写真①のような仁王像があります。これは、明治45年に飯山市で造られた善光寺の仁王像です。なぜ、飯山で仁王像が造られることになったのでしょうか。

現在の善光寺仁王像は、大正8年に高村光雲、米原雲海によって造られました。この威風堂々とした仁王像が安置されるまでには、かなりの期間といくつかのドラマがありました。そのひとつが、飯山仏師により制作された仁王像です。

明治24年、慶応元年に落成した善光寺仁王門と仁王像が焼失してしまいました。善光寺では、明治40年頃、高村光雲に仁王像の制作を依頼しました。光雲は飯山出身の滝沢天友に協力依頼しますが、明治42年に若くして死去。そこで、親友である米原雲海に協力依頼します。そのため、善光寺側は時間がかかると判断し、明治45年のご開帳のために、急ぎよ、仏壇・仏像制作に名のある飯山仏師に依頼することになったのです。

詳細な経緯は不明ですが、明治45年3月初め、依頼された飯山では、東平助、東喜太郎、東亀太郎が世話人となり、彫刻人清水和助をはじめ17名の職人（木札より）が、飯山城跡内のおたや（浄土真宗説教所・現在の市民会館付近）内において仁王像を制作開始、約一ヶ月という極めて短期間にて仕上げました（文献では「あつたものを修復し」とあります）。



写真②

完成した仁王像は飯山から長野まで運ばれましたが、沿道で見ていた人は「荷車に乗せられた大きな真つ黒い仁王様が、大勢の坊さんや、職人さんたちに見守られてやってきました。足や手の部分が胴体から取り外されて別々になつていたように思いました。：真つ黒で目がぎらぎら光るとも背の高い怖い仁王様でした」と述懐しています（写真②）。

こうして、善光寺の要請にこたえて、4月1日のご開帳に間に合うことになりました。当時から飯山仏壇が広く認められていたことを示す出来事です。

本仁王像については、以前より市民の皆様や議会から飯山市において展示したかどうかとの意見があり

開催中！

飯山市ふるさと館春季企画展 6月20日まで

川をわたる～渡し舟から架橋へ～

渡し舟から舟橋、木橋、永久橋と、飯山の川の交通機関であった“渡し”の歴史を紹介。皆様お誘い合わせのうえ、ご来館ください。

■期 間 5月11日（火）～6月20日（日）
■場 所 飯山市ふるさと館
■開館時間 午前9時～午後6時（入館は午後5時半まで）
■休 館 日 毎週月曜日
■入 館 料 大人200円 小中学生100円
※市内の小中学生は無料



△当時の橋建設の苦勞がしのばれる（腰巻きの舟橋）。

企画展現地学習 参加者募集！

近現代土木遺産探訪「飯山の橋めぐり」講師の案内で飯山市内にある橋をめぐり、それぞれの橋の構造・特徴を学習します。普段何気なく渡っている橋にも場所によってさまざまな工夫がなされていることが分かります。ぜひこの機会にご参加ください。

■日 時 平成22年6月6日（日）午前8時30分～12時
■集 合 飯山市ふるさと館 ■講 師 服部 秀人先生
■コ ー ス 古牧橋～綱切橋～中央橋～大関橋～常盤大橋～柏尾橋～湯滝橋～市川橋～西大滝ダム～なべくら五橋

■定 員 30名（先着順）
■資 料 代 500円
■申し込み 6月2日（水）までに飯山市ふるさと館（☎67-2030）までお申し込みください。

ました。こうした経緯を踏まえ、市では歴史的展示物として、北陸新幹線飯山駅の開業に向けた回遊性のあるまちづくり（まちなか観光）の一環として、飯山市街地内に展示する計画を策定しました。平成22年度は、

寺院からご理解を得て像をお譲りいただき、飯山において修復を行う予定です。今後設置場所等を含め、広く市民の皆様のご意見を伺いながら決定していきたいと考えております。